

## 植栽等管理業務委託仕様書

### 1. 委託業務実施場所

山形県立産業技術短期大学校                      山形市松栄二丁目 2-1  
山形県立山形職業能力開発専門学校              山形市松栄二丁目 2-1

### 2. 委託期間

契約締結日から令和 11 年 3 月 31 日まで

### 3. 業務従事者

- ・作業に従事する者（以下「従事者」という。）の雇用に当たっては労働関係法令を順守し、業務責任者については社会保険被加入者で、山形県農薬管理指導士の資格を有する者を配置すること。

### 4. 業務委託事項

#### (1) 病虫害防除

##### 〈対象・目的〉

- ・別紙内訳表に示した樹木とし、病気・害虫から樹木を守り、健全な発育を助けるために実施する。

##### 〈回数・時期〉

- ・年 1 回とし、病虫害の発生状況に応じて、もっとも効果的な時期を判断して双方協議の上実施する。

##### 〈作業方法〉

- ・農薬使用にあたっては、「住宅地等における病虫害防除等に当たって遵守すべき事項」を踏まえて実施すること。
- ・動力噴霧機による機械噴霧とし、規定の倍率で薬剤を水に溶かしよく攪拌し、樹木の葉・枝・幹にムラなく噴霧する。

##### 〈注意点〉

- ・薬剤の使用に関しては、農薬取締法等の農薬関連法規及びメーカー等で定めている安全使用基準、使用方法等を遵守し、薬害に十分注意して行う。
- ・作業の祭は、天候・風の有無・風向き等を検討して実施を決定し、学校関係者及び第三者の安全に充分注意して行う。
- ・作業者は、ゴム手袋・カップ・保護メガネ・マスク等を着用し、薬の影響を受けないように十分に注意して行う。

#### (2) 施肥

##### 〈対象・目的〉

- ・別紙内訳表に示した芝生・宿根草とし、植物の根の活着促進と発育を助けるために実施する。

##### 〈回数・時期〉

- ・年 1 回とし、芝生・宿根草には成長期に実施することを基本とするが、生育の状況

等に応じて適宜判断して実施する。

〈作業方法〉

- ・芝生・宿根草には、地表に所定量の粒状の肥料を直接散布する「地表散布」を行う。

〈注意点〉

- ・「地表散布」の作業は、肥料を地表にムラなく均一に散布するよう注意して行う。

### (3) 芝刈り

〈対象・目的〉

- ・構内緑地のうち芝生地とし、伸びすぎによるむれ枯れや病虫害の発生の防止、そして定期的に刈ることにより根の発育を促進し芽のつまった美しい芝生をつくるために実施する。

〈回数・時期〉

- ・芝刈りは年3回とし、成長時期である6～10月の間、生育の状況等に応じて適宜判断して実施する。

〈作業方法〉

- ・芝刈りは、芝刈り機による機械刈りを基本とし、樹木や施設等の障害物周囲は、もしくは鋏等による手刈りを行う。

〈注意点〉

- ・作業の際は、芝生地内にある樹木・施設及び周囲の建物のガラス等を破損しないよう充分注意し、刈りムラ・刈り残しのないよう均一に刈り込む。
- ・刈り取った芝は速やかに処理するとともに、刈り跡はきれいに清掃する。

### (4) 除草

〈対象・目的〉

- ・別紙内訳表に示した芝生地と植栽地及びその周囲の裸地とし、芝生及び樹木の、適正な成長を助け病虫害の発生を防止し、緑地の環境を清潔で美しく維持するために実施する。

〈回数・時期〉

- ・年2回とし、雑草の成長時期である6～10月の間、雑草の繁茂状況等に応じて適期を判断して行う。

〈作業方法〉

- ・地被類の植栽地では人力による抜根除草とし、抜根後は不陸整生を行う。
- ・その他の植栽地では、人力による抜根除草と肩掛け式の草刈り機械による機械除草を行う。
- ・植栽地周辺の裸地では、肩掛け式の草刈り機械による機械除草もしくは薬剤による薬剤除草を行う。
- ・薬剤除草は、液剤の動力噴霧機による機械噴霧と粒剤の人力による地表散布のうちから、時期及び効果を考えどちらかを選択して行う。
- ・芝生への薬剤除草では、芝生全面に均一に散布し、除草した雑草からこぼれた種の発芽を抑制させるように行う。

〈注意点〉

- ・機械除草の際は、樹木・施設及び周囲の建物のガラス等を破損しないよう充分注意し、また第三者や作業者にも充分注意して行う。
- ・刈り取った芝は速やかに処理するとともに、刈り跡はきれいに清掃する。
- ・薬剤の使用に関しては、農薬取締法等の農薬関連法規及びメーカー等で定めている安全使用基準、使用方法等を遵守し、薬害に充分注意して行う。
- ・薬剤除草の際は、天候・風の有無・風向き等を検討して実施を決定し、大学関係者及び第三者の安全を確保するとともに、樹木に薬液がかからぬよう充分注意して行う。
- ・薬剤除草の際作業者は、ゴム手袋・カップ・保護メガネ・マスク等を着用し、薬の影響を受けないように充分注意して行う。
- ・除草後の雑草は速やかに処理するとともに、除草跡地はきれいに清掃する。

(5) グランド除草

〈対象・目的〉

- ・構内施設のグランドとし、清潔で美しく学生がおおいに活用できるようにするために実施する。

〈回数・時期〉

- ・肩掛け式の草刈り機械による機械除草は年1回、薬剤による薬剤除草は年2回とし雑草の成長時期である6～10月の間に適期を判断して行う。

〈作業方法〉

- ・基本的には、機械による機械除草と、薬剤による薬剤除草の併用で行い、雑草の繁茂状況と作業効率により、人力除草に振り替えるなどもっとも効果的と思われる方法で行う。
- ・機械除草は肩掛け式草刈機で雑草の地際より上部を刈り取ることを基本とするが、雑草の繁茂状況によりもっともよいと思われる方法で行う。
- ・薬剤除草は、動力噴霧器による機械噴霧年、グランド全面に均一に薬剤がかかるようにし、除草した雑草からこぼれた種の発芽を抑制させるように行う。

〈注意点〉

- ・薬剤の使用に関しては、農薬取締法等の農薬関連法規及びメーカー等で定めている安全使用基準、使用方法等を遵守し、薬害に充分注意して行う。
- ・薬剤除草の際は、天候・風の有無・風向き等を検討して実施を決定し、大学関係者及び第三者の安全を確保するとともに、周囲にある樹木に薬液がかからぬよう充分注意して行う。
- ・薬剤除草の際作業者は、ゴム手袋・カップ・保護メガネ・マスク等を着用し、薬の影響を受けないように充分注意して行う。
- ・除草後の雑草は速やかに処理するとともに、除草跡地はきれいに清掃する。

(6) 雪囲い取外し

〈対象・目的〉

- ・別紙内訳表に示した樹木とし、雪害より樹木を守るため、唐竹・丸太・杭を縄等で

結束して保護し、雪害の恐れが無くなった時期に取外す。

〈回数・時期〉

- ・年1回とし、降雪前の11～12月に雪囲いを、翌年3月に取外しを行うことを基本とするが、取外しに関しては、その年の積雪状況により適期を判断して行う。

〈作業方法〉

- ・雪吊りは、樹木の中心に立てた丸太から周囲に張った縄で枝を吊るようにして、積雪や降雪による枝折れなどから樹木を保護するために行う。
- ・竹三本囲いは、樹木の周囲に竹を三本立て縄で結束し、積雪、降雪による枝折れや除雪作業による冠雪から樹木を保護するために行う。
- ・五又しぼり囲い(竹)は、樹木の周囲に竹を五本立て縄で結束し、積雪、降雪による枝折れや除雪作業による冠雪から樹木を保護するために行う。
- ・屋根囲いは、寄植えの上部に杭と横木を使い傾斜をつけた棚を作りそこに竹を渡し、積雪によるつぶれから樹木を保護するために行う。
- ・取外した材料は、次回にも使用するため、委託者より指定された場所に保管する。

〈注意点〉

- ・雪囲い及び取外しの作業の際は、構内の車両及び歩行者、また樹木等を損傷しないよう充分注意して行う。
- ・降雪の多い場合は、雪下ろし及び雪囲い材のチェックをし、適正な養生を行う。

## (7) 剪定

〈対象・目的〉

- ・別紙内訳表に示した樹木とし、樹木の成長維持等のために実施する。

〈回数・時期〉

- ・各年1回とし、樹木の成長時期である6～10月の間に、適期を判断して行う。

〈作業方法〉

- ・低木は高さ概ね1mを保持する。
- ・地被類(コグマサ・コネスター)はそれぞれ面を作るため剪定する。(コネスターは概ね30cmの高さとし、植樹柵周囲の剪定を含む。)

〈注意点〉

- ・作業の際は、構内の車両及び歩行者、また樹木等を損傷しないよう充分注意して行う。
- ・剪定した枝葉は速やかに処理するとともに、きれいに清掃する。

## (8) 塵処分・その他

〈対象・目的〉

- ・作業で発生した塵、および庭園内の造園資材の破損材等は、その都度収集し、場外搬出処分とする。
- ・春から夏にかけての乾燥時期には、樹木及び芝生の乾燥状況に応じて、適宜かん水、散水作業を行う。
- ・風倒木、枯損枝等が生じた場合は、委託者と協議の上速やかに対応する。

## (9) 屋外実習場除草

### 〈対象・目的〉

- ・別紙図面「⑨屋外実習場除草」着色部（土木実習棟南側、本校グラウンド東側・テニス場・野球場脇（合計：2188m<sup>2</sup>）を対象とする。

### 〈回数・時期〉

- ・薬剤による薬剤除草は年2回とし、土木エンジニアリング科の実習時期及び雑草の成長時期である5～10月の間に適期を判断して行う。

### 〈作業方法〉

- ・薬剤除草は、動力噴霧器による機械噴霧年、各実習場（⑨図面着色部）全面に均一に薬剤がかかるようにし、除草した雑草からこぼれた種の発芽を抑制させるように行う。

### 〈注意点〉

- ・薬剤の使用に関しては、農薬取締法等の農薬関連法規及びメーカー等で定めている安全使用基準、使用方法等を遵守し、薬害に充分注意して行う。
- ・薬剤除草の際は、天候・風の有無・風向き等を検討して実施を決定し、大学関係者及び第三者の安全を確保するとともに、周囲にある樹木に薬液がかからぬよう充分注意して行う。
- ・薬剤除草の際作業者は、ゴム手袋・カップ・保護メガネ・マスク等を着用し、薬の影響を受けないように充分注意して行う。
- ・除草後の雑草は速やかに処理するとともに、除草跡地はきれいに清掃する。

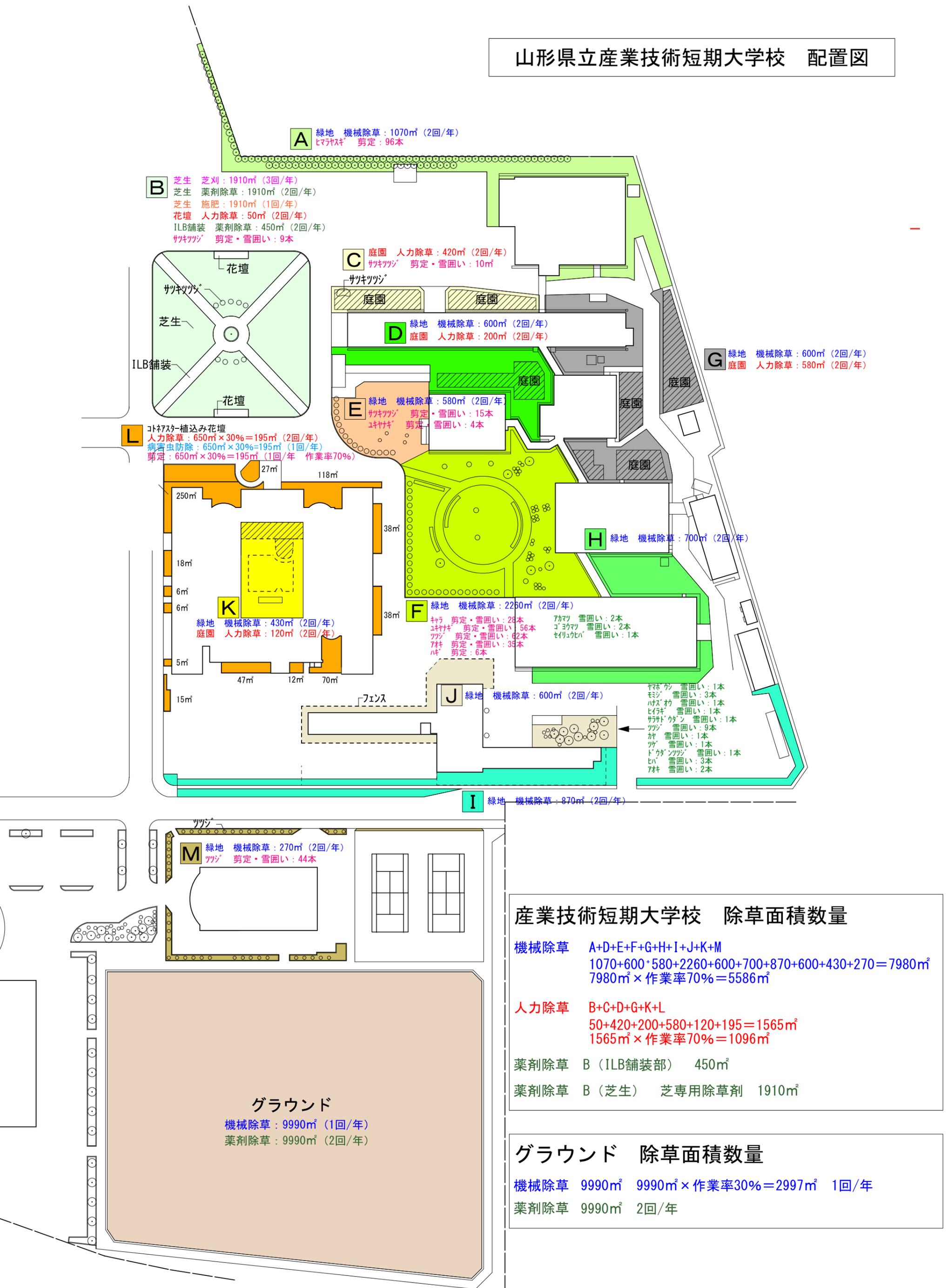
植栽等管理業務 内訳表

項目	規格 (m)	単位	数量			備考
			短大校	専門校	計	
①病虫害防除						
地被類		m <sup>2</sup>	195	190	385	
②施肥						
宿根草 (ハメカリス)		m <sup>2</sup>	0	70	70	
野芝		m <sup>2</sup>	1,910	0	1,910	
③芝刈						
機械芝刈		m <sup>2</sup>	1,910	0	1,910	
④除草						
機械除草 (肩掛け式)		m <sup>2</sup>	5,586	329	5,915	作業率70%
人力除草		m <sup>2</sup>	1,096	644	1,740	作業率70%
薬剤除草		m <sup>2</sup>	450	440	890	
薬剤除草 (芝)		m <sup>2</sup>	1,910	0	1,910	
⑤グランド除草						
機械除草		m <sup>2</sup>	2,997	0	2,997	作業率30% 1回/年
薬剤除草		m <sup>2</sup>	19,980	0	19,980	2回/年
⑥雪囲い取り外し						
雪吊り (樹高)	6.0 ~ 9.0	本	1	0	1	
"	4.0 ~ 6.0	本	2	0	2	
"	3.5 内外	本	3	0	3	
"	2.5 内外	本	1	0	1	
五又しぼり囲い	2.0	本	5	0	5	
竹三本囲い	2.0	本	47	0	47	
竹三本囲い	1.0	本	58	0	58	
添竹しぼり囲い	1.0	本	36	0	36	
縄しぼり (葉張り)	1.0	本	7	0	7	
縄しぼり (葉張り)	0.5	本	122	0	122	
屋根囲い		m <sup>2</sup>	10	0	10	
⑦剪定						
高木 (幹周り)	0.9 ~ 1.2	本	0	15	15	落葉樹
"	0.6 ~ 0.9	本	0	3	3	落葉樹
"	0.3 ~ 0.6	本	0	9	9	落葉樹
"	0.15 ~ 0.3	本	0	1	1	落葉樹
"	0.6 ~ 0.9	本	0	1	1	針葉樹
"	0.3 ~ 0.6	本	96	12	108	針葉樹
"	0.15 ~ 0.3	本	0	1	1	針葉樹
"	1.2 ~ 1.5	本	0	1	1	刈込 (玉物)
"	0.75 ~ 1.2	本	255	6	261	刈込 (玉物)
"	0.5 ~ 0.75	本	0	31	31	刈込 (玉物)
寄植え (樹高)	~ 1.5	m <sup>2</sup>	10	0	10	刈込 (寄植)
寄植え (樹高)	~ 1.5	m <sup>2</sup>	137	336	473	刈込 作業率70%
剪定枝処分		kg	2,000	400	2,400	刈込 作業率70%
⑧塵運搬処理						
塵処分		式	1	0	1	
⑨屋外実習場除草						
薬剤除草		回	2	0	2	

総括

項目	規格	単位	数量	
①病虫害防除		回	1	
②施肥		回	1	
③芝刈	~ 10月	回	3	
④除草	~ 10月	回	2	機械除草 人力除草 薬剤除草
⑤グランド除草	~ 9月	式	1	機械除草1回 薬剤除草2回
⑥雪囲い取り外し	~	式	1	
⑦剪定	~ 10月	回	1	
⑧塵処分		式	1	現場発生 of 造園資材 塵等の処分
⑨屋外実習場除草	~ 10月	回	2	薬剤除草年2回

# 山形県立産業技術短期大学校 配置図



## 産業技術短期大学校 除草面積数量

機械除草	A+D+E+F+G+H+I+J+K+M
	1070+600+580+2260+600+700+870+600+430+270=7980㎡
	7980㎡×作業率70%=5586㎡
人力除草	B+C+D+G+K+L
	50+420+200+580+120+195=1565㎡
	1565㎡×作業率70%=1096㎡
薬剤除草	B (ILB舗装部) 450㎡
薬剤除草	B (芝生) 芝専用除草剤 1910㎡

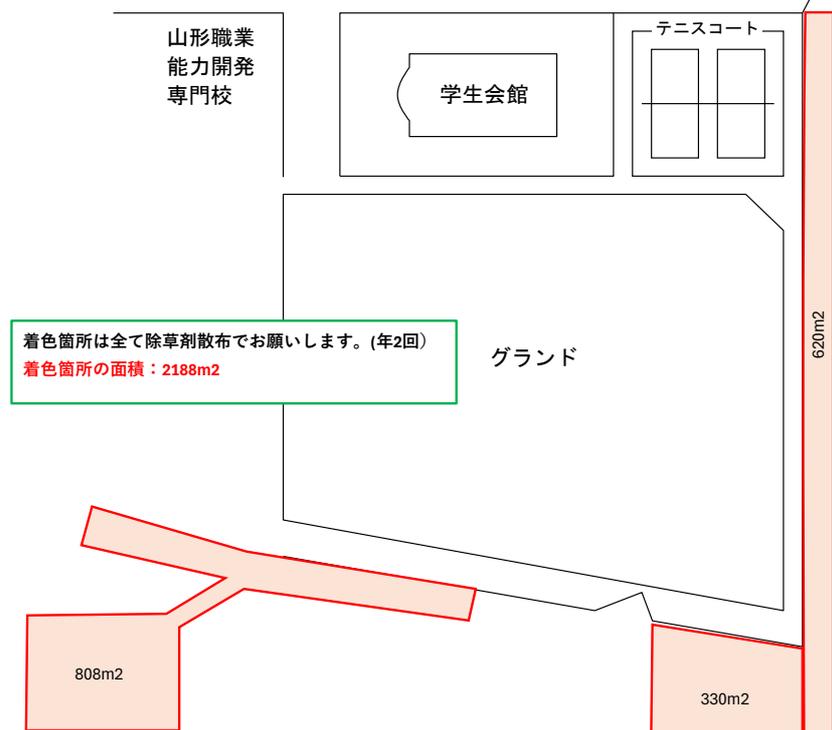
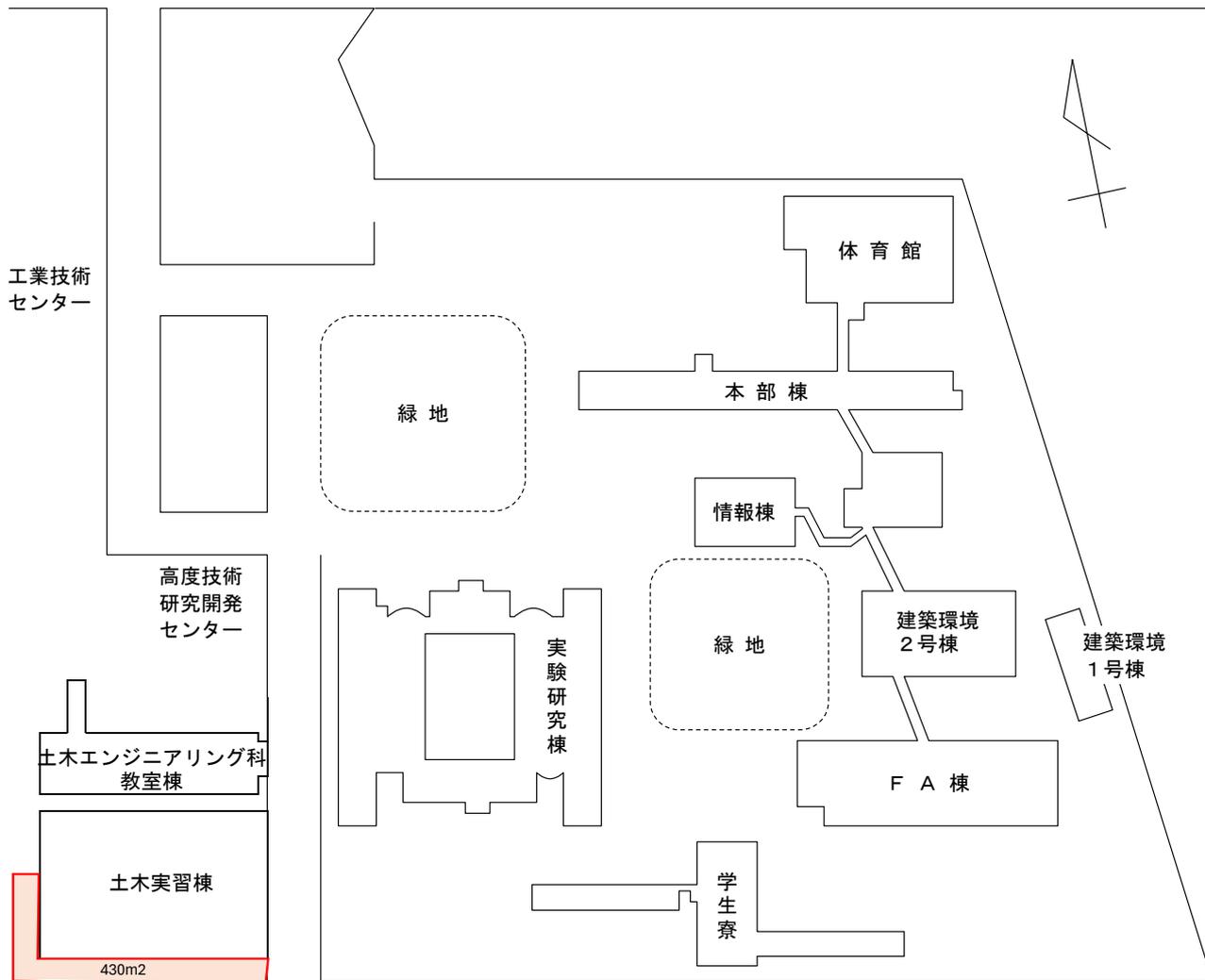
## グラウンド 除草面積数量

機械除草	9990㎡	9990㎡×作業率30%=2997㎡	1回/年
薬剤除草	9990㎡		2回/年

⑨屋外実習場除草作業

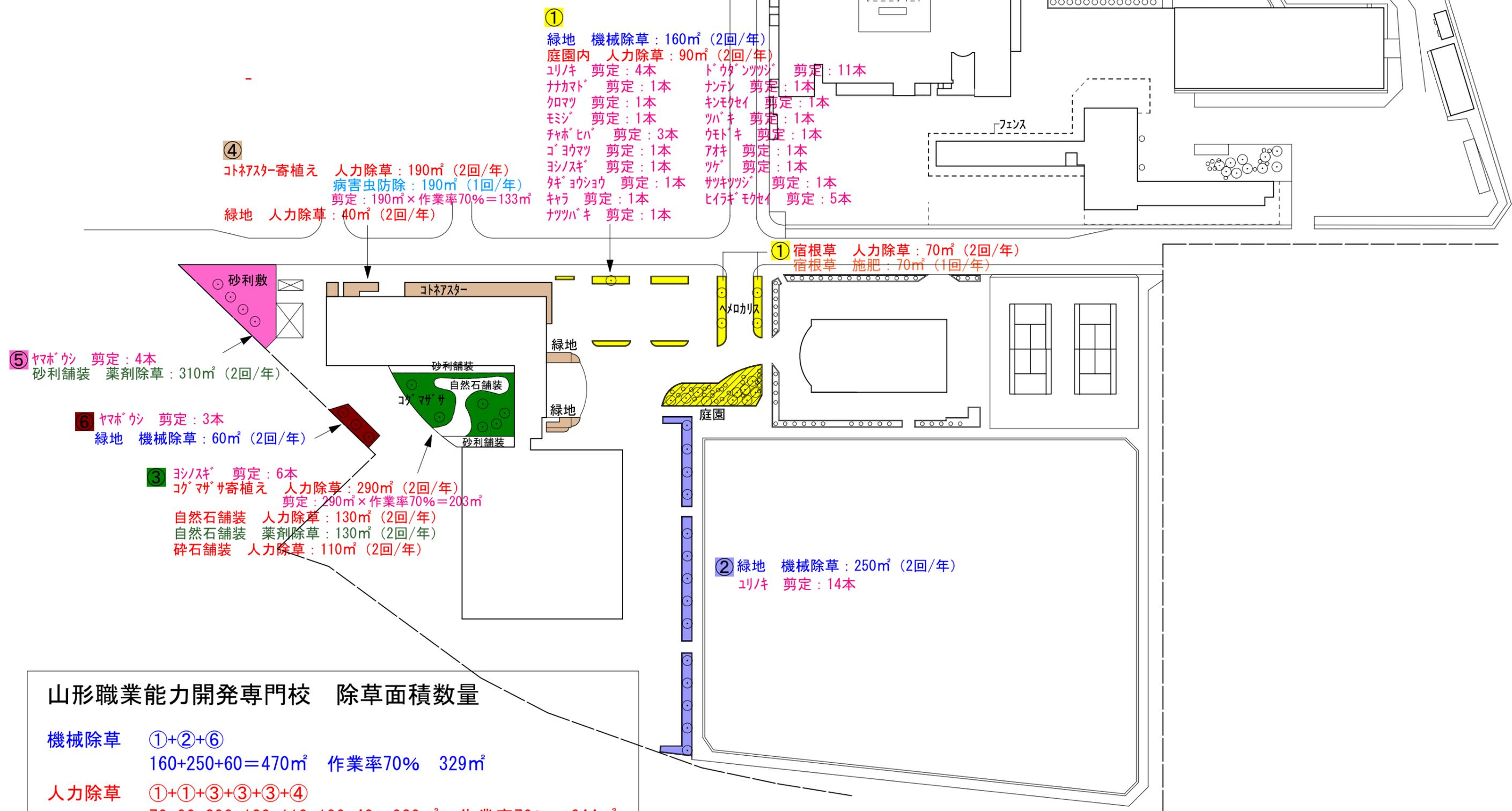
至 白鷹

至 県庁



・敷地総面積	58,883㎡
・主な建物（延床面積）	17,966㎡
本部棟	2,376㎡
実験研究棟	6,443㎡
情報棟	720㎡
F A 棟	1,082㎡
建築環境 1 号棟	420㎡
建築環境 2 号棟	689㎡
体育館	886㎡
学生会館	1,920㎡
学生寮	1,617㎡
土木エンジニアリング科教室棟	1,320㎡
土木実習棟	493㎡
・運動広場（グラウンド、テニスコート）	11,586㎡

# 山形県立山形職業能力開発専門校 配置図



## 山形職業能力開発専門校 除草面積数量

機械除草	①+②+⑥	160+250+60=470㎡	作業率70%	329㎡
人力除草	①+①+③+③+③+④	70+90+290+130+110+190+40=920㎡	作業率70%	644㎡
薬剤除草	③+⑤	130+310=440㎡		